

大船渡市

第10号

平成20年9月5日発行



消防団だより

記事内容

- 平成20年度消防団幹部紹介……………P2
- 平成20年度新任消防団員……………P3
- 平成20年度消防操法競技会……………P4
- 消防団員が救命処置!!……………P7
- 平成19年度退団者……………P8



指揮者の声高らかに！
火点狙撃手

手びろめの名人
一番員
二番員

韋駄天の華の
三番員
熟練技術の
四番員
陰で支える
分団員



『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』

平成20年度全国統一防火標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 ☎0192-27-2119）

“平成20年度大船渡市消防団の

幹部を紹介します”

団本部

団長	紀室若男
副団長	今野武義
副団長	新沼竹美
副団長	金野和夫
本部長	佐々木正男
副本部長	新沼哲



辞令交付式の様子

団付部長①	美野清隆
団付部長②	佐々木利光
団付部長③	西山春仁
団付部長④	浅野芳政
団付部長⑤	森松男
団付部長⑥	田村文利
団付部長⑦	中村則行
団付部長⑧	千葉桂
団付部長⑨	杉山敏郎
団付部長⑩	川崎正弘
団付部長⑪	及川一巳
団付部長⑫	小坪和人

分団長

第1分団	鈴木修
第2分団	佐々木義幸
第3分団	熊谷節男
第4分団	村上博
第5分団	亘理英敏
第6分団	安田由紀男
第7分団	田村裕和
第8分団	猪股拓也
第9分団	佐藤武
第10分団	伊藤力也
第11分団	瀧澤英喜
第12分団	佐藤善公

副分団長

第1分団	出羽司孝
第2分団	志田寿
第3分団	佐々木啓一
第4分団	近藤良也
第5分団	鈴木満広
第6分団	齋藤節
第7分団	橋本光雄
第8分団	吉野清
第9分団	金野正光
第10分団	千田岳明
第11分団	酒田初男
第12分団	田中仁一

よろしくお願ひします

新分団長紹介

第9分団長
佐藤 武



霊峰五葉山のもと、
地域のために頑張ります。

第4分団長
村上 博



伝統ある第4分団長
を拝命し、心引き締まる
思いです。

第2分団長
佐々木 義幸



団員一丸となって、
地域防災に全力で取り
組みます。

第1分団長
鈴木 修



団員の防災意識を再
確認し、安全な町づく
りを目指します。

防災(津波)訓練

市民総動員の対応確認
7500人参加!

平成20年度防災(津波)訓練は、5月25日末崎中学校を主会場に行われました。午前6時ごろに大船渡市内で震度6弱の地震があり、家屋倒壊や停電、断水のほか、沿岸地域に最大10メートルの津波が来襲、建物火災が発生し、延焼拡大の危険があるとの想定で行われ、市民約7500人が参加。主会場となった末崎中学校では、雨にもかかわらず多数の住民が参加し、水消火器を使用した初期消火訓練やケガ人の搬送訓練、心肺蘇生法などを真剣に行いました。消防団員は、水門の閉鎖や各分団管内で火災防衛訓練にあたりました。



末崎中学校での訓練の様子

平成20年度新任消防団員

H20.7.30現在

所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名
1-1	志田陽平	3-2	新沼善也	6-2	三浦広貴	9-2	伊藤諒	11-3	熊谷賢
	新沼大亮	3-3	渋谷涼太		千葉貴幸	9-4	佐藤研佑		今野誉也
2-1	木下康司	4-3	菅原雄	6-3	三浦敬之	9-5	藤原昌裕	11-4	古水大喜
	新沼大樹	4-4	細川剛		青砥春一	10-1	鈴木俊次	11-5	刈谷遥
2-2	及川瞬	4-5	佐竹洋平	7-1	佐々木善彦	10-2	山岸剛	11-6	佐藤直司
	平山学		志田悠馬		佐々木雄大	10-3	佐々木勇氣	12-2	渡邊隆二
2-3	笹崎大岳	5-1	志田孔徳	7-2	水野和真	10-4	新沼佳門		12-3
	平田友樹	5-2	千葉史裕		千葉稔	10-5	熊谷裕太	12-4	
3-1	平剛次	5-3	志田卓郎	8-2	佐々木伶		11-1		三浦樹
	橋本佳明		鈴木利光		鈴木伸	道下雄平		佐藤瑛祐	
3-2	小西健太	6-1	小松慧	8-2	千葉弘行	11-1	平田真之	12-4	千葉豪
	船本直希		金野貴樹	8-3	及川克彦		寺嶋大梧		
	川原聖貴		鈴木祐介	9-1	平裕輝		中井久		

所属 第1分団第1部

氏名 志田陽平

年齢 19歳

特技 五目ならべ

趣味 野球

好きな女性のタイプ

明るい子(彼女募集中!)

消防団に対する希望

大事にしてください。

先輩から一言

いろいろな世代、さまざまな職種、それぞれの想い!大切にしていきたいでしょう。



所属 第2分団第2部

氏名 及川瞬

年齢 25歳

特技 バレーボール

趣味 釣り・車

好きな女性のタイプ

いやし系

消防団に対する希望

ご指導、よろしくお願いします。

先輩から一言

元気な性格で2部のムードメーカーになれる団員です。消防活動等に頑張ってください。



所属 第3分団第2部

氏名 新沼善也

年齢 18歳

特技 スポーツ

趣味 ゲーム

好きな女性のタイプ

かわいい人

消防団に対する希望

よろしくお願いします。

先輩から一言

消防団の友人をたくさん作ってください!



ニューフェイス紹介

所属 第4分団第3部

氏名 菅原雄

年齢 18歳

特技 キャッチボール

趣味 洗車

好きな女性のタイプ

めんこい女の子

消防団に対する希望

夜警は早い時間をお願いします。

先輩から一言

我が部の次期エースとして期待しています。今度、キャッチボールをしましょう。



所属 第5分団第3部

氏名 鈴木利光

年齢 19歳

特技 何事にも集中

趣味 野球・サッカー

好きな女性のタイプ

優しい人

消防団に対する希望

明るく楽しい消防団活動にしてください。

先輩から一言

地域住民の生命・身体・財産を守る団員として、共に汗を流し頑張りましょう。



所属 第6分団第3部

氏名 青砥春一

年齢 22歳

特技 ドラム

趣味 よさこいソーラン車

好きな女性のタイプ

明るい人

消防団に対する希望

団員が増えて、明るく楽しくやってほしい。

先輩から一言

今は雑用ばかりでおもしろくないかも知れませんが、必ず消防団に入って良かったと思う時がきます。



平成20年度大船渡市消防操法競技会

ポンプ車の部第5分団第2部、小型ポンプの部第5分団第3部優勝

平成20年度大船渡市消防操法競技会が6月15日、赤崎町永浜貯木場を会場に開催されました。

晴天の中、第8分団第3部の金野道程班長の力強い選手宣誓の後、ポンプ車の部22チーム、小型ポンプの部27チームの精鋭たちは、これまでの訓練の成果を、詰めかけた多くの団員や家族の応援の中、遺憾なく発揮してくれました。その姿は、前日の岩手・宮城内陸地震の不安を吹き飛ばすほどで、まさに勇猛果敢の一言につきるものでした。

今年度から、上位大会である気仙地区支部大会より、水出し操法となるため、より実践的項目に重点をおいた審査内容となりました。競技の結果、ポンプ車の部は第5分団第2部（赤崎町蛸ノ浦）、小型ポンプの部は第5分団第3部（赤崎町清水）がそれぞれ優勝の栄冠を手に入れました。

ポンプ車の部 優勝 第5分団第2部



指揮者 東 信一	1番員 東 善和
2番員 新沼圭史郎	3番員 東 陽祐
4番員 崎山 宰	補助員 亘理 拓也

優勝した第5分団第2部 選手の皆さんより一言

- 指揮者 東 信一
部員みんなが一丸となって取り組んだ結果、優勝することができました。
- 1番員 東 善和
勝因は、自分の力1%、共に戦った番員、支えてくれた部員、そしてみんなの応援の力が99%です。
- 2番員 新沼圭史郎
訓練をとおして、一生懸命取り組むことの大切さを実感しました。
- 3番員 東 陽祐
協力していただいた皆さんのおかげで優勝することができました。
- 4番員 崎山 宰
部員や職場の支え、そして家族の支えがあったからこそ、優勝することができました。

ポンプ車の部 準優勝 第4分団第6部



指揮者 大和田達也	1番員 大和田亨志
2番員 吉田 和春	3番員 村上 純一
4番員 大和田浩哉	補助員 大磯 勝哉

ポンプ車の部 第3位 第2分団第1部



指揮者 木下 清吾	1番員 志田 拓磨
2番員 吉田 聡	3番員 及川 将
4番員 川戸 伸昭	補助員 木下 康司

小型ポンプの部
優勝

第5分団第3部



指揮者 鈴木 雅樹 1番員 古内 清満
2番員 志田 浩樹 3番員 藤原 淳
補助員 志田 欣之

優勝した第5分団第3部 選手の皆さんより一言

● 指揮者 鈴木 雅樹

一人一人の目標に対する努力があったから、優勝することができました。

● 1番員 古内 清満

20年前に県大会で優勝した父に、少し近づけました。さらに近づけるよう、頑張ります。

● 2番員 志田 浩樹

頼れるメンバーや部員のおかげで、優勝することができました。

● 3番員 藤原 淳

勝因は、みんな気持ちをつにして競技に望めたことです。

小型ポンプの部
準優勝

第5分団第1部



指揮者 志田 徳博 1番員 磯谷 皇紀
2番員 磯谷 拓実 3番員 熊谷 智文
補助員 磯谷 貴実

小型ポンプの部
第3位

第9分団第3部



指揮者 三条 健一 1番員 近江 彰
2番員 近江 賢 3番員 近江 崇
補助員 猪股 司

平成20年度大船渡市消防操法競技会成績（4位～9位）

ポンプ車の部				小型ポンプの部			
4位	第6分団第3部	7位	第4分団第2部	4位	第10分団第6部	7位	第1分団第3部
5位	第3分団第2部	8位	第3分団第1部	5位	第1分団第1部	8位	第10分団第5部
6位	第6分団第1部	9位	第6分団第2部	6位	第11分団第4部	9位	第9分団第2部

ポンプ車の部は上位3チーム、小型ポンプの部は上位4チームが気仙地区支部大会に出場しました。

(担当 浅野芳政・田村文利)

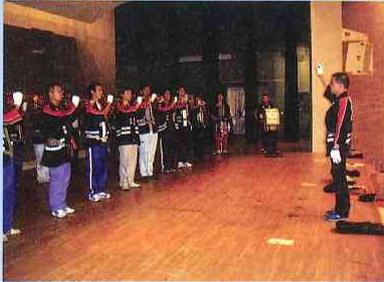
大船渡市消防団ラッパ隊 県消防操法競技会に向け猛練習

このたび、大船渡市消防団のラッパ隊が、岩手県消防学校において開催される、第36回岩手県消防操法競技会で、吹奏を披露することとなりました。これは、当ラッパ隊の活発的な活動はもとより、吹奏技術の高さが評価され、岩手県消防協会より出演依頼があつたものです。隊の基本活動は、消防出初式、春季・秋季消防演習、消防操法競技会などでの吹奏で、その訓練期間は年間60日以上にも及びます。このような継続的な活動が認められ、これまでも、県慰霊祭で吹奏を披露するなど、活躍の場は市外にも広がっています。

今回の演奏では、通常の式典で披露するものに加え、消防殉職者へ捧げる『国の鎮め』など、新たな曲目へも取り組んでいます。また、演奏に合わせ行進しながら、隊列をさまざまに変化させる『ドリル演奏』も行います。これらの演奏は高度な技術を要するため、50数名の隊員たちは一丸となり、1ヶ月以上もの厳しい訓練を行ってきました。

隊員たちは、「訓練を通じて培った技術とラッパ魂を遺憾なく発揮し、競技会に出場する選手の士気高揚の糧となり、気仙地区の代表として恥ずかしくない演奏を行ってきた」と意気込みを熱く語ってくれました。

(担当 千葉 桂・杉山 敏郎)



大船渡市消防団2種目制覇! 気仙地区支部消防操法競技会にて連覇

7月6日、陸前高田市のタピック45において、気仙地区支部消防操法競技会が晴天の中開催されました。今年度より水出し操法となったため、各部では練習場の確保や、高性能ポンプの調達などに苦労を強いられました。そのような中、選手たちは、県大会への出場権を勝ち取るため、厳しい訓練を積み重ね、威勢良く競技に臨みました。

その結果、ポンプ車の部は大船渡市消防団第5分団第2部が、小型ポンプの部は同消防団第5分団第3部が、それぞれ第36回岩手県消防操法競技会の出場権を見事手中に収めました。

今年度は、東京ビックサイトでポンプ車の部の全国大会が開催されます。

精鋭たちは、気仙地区の消防団員2千3百名の代表として、これまで培ってきた技術とそれぞれの想いを胸に、士気を高め、大船渡消防魂を県下に見せつけてくれるでしょう。



第5分団第2部



第5分団第3部

(担当 田村 文利・浅野 芳政)

平成20年度気仙地区支部消防操法競技会成績

ポンプ車の部			小型ポンプの部		
順位	所	属	順位	所	属
1	大船渡市消防団	第5分団第2部	1	大船渡市消防団	第5分団第3部
2	陸前高田市消防団	気仙分団第3部	2	大船渡市消防団	第10分団第6部
3	大船渡市消防団	第4分団第6部	3	大船渡市消防団	第5分団第1部
4	陸前高田市消防団	横田分団第2部	4	陸前高田市消防団	高田分団第5部
5	大船渡市消防団	第2分団第1部	5	大船渡市消防団	第9分団第3部
6	住田町消防団	第4分団第3部	6	陸前高田市消防団	小友分団第3部
			7	住田町消防団	第3分団第2部
			8	住田町消防団	第4分団第2部

※この記事は、7月30日現在で書いています。県消防操法競技会の結果は、次号で紹介します。



第11分団第4部長
石川利宏

“消防団員が” 救命処置

大船渡市消防団第11分団第4部所属の石川利宏部長が、的確な判断と迅速な行動により、職場で心肺停止状態に陥った人をAEDを使用し蘇生させた事例がありましたので紹介します。

5月4日午後1時45分ごろ、三陸町吉浜の身体障害者療護施設吉浜荘（社会福祉法人愛生会 橋本行男理事長）で入所者がトイレで倒れました。勤務していた石川部長は、直ちに容態を観察、心肺停止状態と判断し心肺蘇生法を施すとともに同施設に設置してあるAED（自動体外式除細動器）を装着、音声ガイドに従い通算4回の電気ショックを行いました。幸い、4回目の電気ショックで呼吸が回復し到着した救急隊に引き継がれました。現在この方は、元気に生活しています。

『石川部長へインタビューを行いましたので紹介します。』

その時の様子を教えてください。

◇職員の日食時間のため3人しかいなかったのですが、人が倒れているの知らせがあい、行ってみると顔が真っ黒になっていました。救命講習のとおりに最初

救命講習が役に立ったのですか？

◇昨年12月に応急手当普及員講習を3日間、一昨年には上級救命講習を受けていました。その経験が役に立ちました。

今後の抱負などがあればお願いします。

◇学んだ技術を生かし人命を救えたことは、今後仕事はもとより消防団活動を続けていく上での自信と励みになりました。今度の事がAEDの普及と講習会への参加人数の増加につながれば幸いです。

これからも技術の向上に努め、団員として市民の期待に応えていきたいと思っています。



所属 第9分団第2部
氏名 伊藤 諒
年齢 20歳
特技 野球
趣味 農業・車
好きな女性のタイプ

好きになれば、好き!!
消防団に対しての希望
楽しく!よろしく♪
先輩から一言
私たちと一緒に地域の心を支える立派な消防団員になってください。



所属 第8分団第2部
氏名 千葉 弘行
年齢 23歳
特技 サッカー
趣味 スノーボード
好きな女性のタイプ

天然系
消防団に対しての希望
頑張りますのでよろしくお願いします。
先輩から一言
経験と知識を積み上げ、先輩達のような団員を目指し、頑張ってください。



所属 第7分団第2部
氏名 佐々木 侖
年齢 26歳
特技 サッカー
趣味 インターネットパズル
好きな女性のタイプ

明るく元気な女性
消防団に対しての希望
これからも、まじめにそして楽しく、消防団活動等のご指導をお願いします。
先輩から一言
消防活動だけでなく、他にもいろいろ頑張っていきたいと思います。

ニューフェイス紹介



所属 第12分団第4部
氏名 佐藤 瑛祐
年齢 19歳
特技 絵描き
趣味 釣り
好きな女性のタイプ

明るい人
消防団に対しての希望
迷惑をかけるとは思いますが、よろしくをお願いします。
先輩から一言
団員は少ない部ですが、一緒に頑張りましょう。



所属 第11分団第3部
氏名 熊谷 賢
年齢 31歳
特技 なし
趣味 車
好きな女性のタイプ

楽しい人
消防団に対しての希望
頑張りますので指導をお願いします。
先輩から一言
入団を心から歓迎します。頑張ってください。

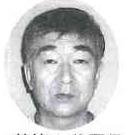


所属 第10分団第3部
氏名 佐々木 勇気
年齢 19歳
特技 スノーボード
趣味 釣り
好きな女性のタイプ

愛嬌があり笑顔の似合う人
消防団に対しての希望
まだ入団していない若い人たちも多いので、積極的に勧誘してください。
先輩から一言
助け合いの精神を忘れずに頑張ってください。

長い間お疲れ様でした

「平成20年3月31日付で
大船渡市消防団を退団した方々です」



前第1分団長
水野 清孝



前第2分団長
山口 和三



前第4分団長
故 高橋 光寿

去る6月7日に急逝された前第4分団長高橋様に対し、消防団一同謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



前第9分団長
平山 哲也

退団当時			退団当時			退団当時		
所 属	階 級	氏 名	所 属	階 級	氏 名	所 属	階 級	氏 名
1-本	分団長	水野 清孝	4-3	部 長	後藤 浩靖		部 長	新 沼 鋭
1-1	部 長	千葉 繁彦	4-5	団 員	鈴木 隆	9-4	班 長	佐藤 正光
2-本	分団長	山口 和三		団 員	村上 実		団 員	杉山 康幸
	部 長	吉田 定	4-6	団 員	山本 武	9-5	部 長	藤丸 勝志
	団 員	村上 輝	5-1	部 長	武山 清人		10-4	班 長
2-1	班 長	鈴木 康文		部 長	鎌田 俊行	11-3		団 員
2-3	団 員	新沼 貴史	5-2	班 長	森 享男		11-4	部 長
	団 員	菅野 将人		団 員	森 勇一	団 員		森 崇
2-4	団 員	伊藤 元気	6-1	部 長	小松 隆二	11-5	団 員	田中正光
	団 員	平山 享裕	6-3	団 員	佐野 清隆		12-本	副分団長
3-1	部 長	大浦 秀雄	7-1	部 長	高橋 徹	班 長		白木澤 寿重
	団 員	及川 広悦	7-3	部 長	三浦 仁	12-1	部 長	木川田 洋一郎
3-2	団 員	大和田 新	8-本	団 員	菊地 初音		班 長	山崎 勝弘
4-本	分団長	故高橋 光寿	9-本	分団長	平山 哲也	12-2	班 長	外川 利博
4-1	部 長	松岡 弘志	9-1	部 長	似鳥 廉		部 長	柏崎 孝人
4-2	団 員	村上 秀喜		団 員	千葉 武明	12-4	団 員	松川 和彦

「消防団員募集！」

消防団は、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という郷土愛護の精神で活動し、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。

◎消防団員の待遇

火災などの災害活動に出動した際には、権限と責任を有する非常勤の地方公務員としての身分となります。消防活動に必要な被服が貸与され、とともに、消防団活動中に負傷した場合などには公務災害補償を受けられます。また、職務にあたって功労、功績があった場合は表彰されます。

消防団に興味を持たれた方や、消防団への入団を希望する方は、地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にその旨をお伝え下さい。



連絡先

大船渡消防署 : 272119
三陸分署 : 442119
綾里分遣所 : 422119

編集部より

今年度は、防災訓練・春季演習に始まり、操法競技会の市内大会と支部・県大会、そして「海フェスタ」の警備と、団本部も息をつく暇がない毎日でしたが、おかげさまで前半の大きな行事も終わりました。暑い夏を迎え、このへんでちよつと一息、渴いた喉を潤しながら後半に備えたいと思います。しかし、岩手・宮城内陸地震のように災害は突然やってきます。いざというとき活躍できるように、体調管理はしっかりと、飲み過ぎないようにしなければ…。

「消防団だより」もおかげさまで10号になりました。発行までは苦勞の連続ですが、皆さんに楽しみながら読んでもらえる紙面を作るために、編集部一同頑張っていきたいと思っています。今後ともご指導よろしく申し上げます。



編集部（団本部）